

そこで、各学校の教育課程編成の参考に資するため5月に標記の資料を作成し関係方面に配布した。

(4) 教育課程および設備の基準の作成

昭和37年度からの教育課程の全面実施に備えて、教育課程および設備の基準を次のように作成した。

① 中学校教育課程研究委員会の設置

ア 目的 教育課程ならびに設備に関する県基準を設定するために、必要な資料について研究し、その結果を県教育委員会に答申する。

イ 委員

県中学校長会ならびに各教科研究団体から候補者の推薦を求め、27人を委嘱した。

ウ 審議

第1回 5月9日(火)
第2回 6月19日(月)
第3回 7月18日(火) } 7月末日答申

② 「中学校教育課程編成上の留意事項」ならびに「中学校各教科設備基準」の作成

上記研究委員会から答申をうけに資料に基づいてこの二つを作成し11月に関係方面に配布した。

3 高等学校

昭和38年度からの高校教育課程改訂をひかえ、1の趣旨の徹底をはかるとともに、改訂教育課程の実施に関する諸問題について研究協議を行なうため次の要項により実施した。

(1) 期日と会場

各会場とも第1日は一般、特別教育活動学校行事等について、第2日は教科別に分科会を9時から16時まで協議を行なった。

地区別	月 日	会 場 校
普通教科	県南地区 8月22日(火)23日(水)	安積女子高校
	浜通地区 8月23日(水)24日(木)	富岡高校
	県北地区 8月28日(月)29日(火)	福島商業高校
	会津地区 8月29日(火)30日(水)	会津女子高校
職業教科	県南地区 12月25日(月)26日(火)	郡山工業高校
	浜通地区 12月26日(火)27日(水)	平工業高校
	県北地区 1月4日(木)5日(金)	福島女子高校
	会津地区 1月5日(金)6日(土)	会津工業高校

(2) 参加者 高等学校長と教員892名

(3) 説明内容

- ① 高等学校教育課程改訂の基本方針
- ② 総則の要点
 - ア 教科科目とその標準単位数
 - イ 教科科目の履修
 - ウ 教育課程編成上の留意事項
 - エ 職業を主とする各学科の目標について

オ 通信教育における教育課程

③ 各教科別研究協議会

各学校から提出された問題点を中心にして研究協議をおこなう。

(4) 講師

一般特活行事

本庁指導主事 大原 亨
喜多方高校長 塚越 弘平
福島女子高校教頭 田丸 一郎

国語

本庁指導主事 白岩 和夫
会津工業高校教諭 田中 貢
保原高校教諭 小野 正雄

社会

本庁指導主事 古関 富男
喜多方女子高校教諭 塚原 武美
田村高校主事 武内 力衛

数学

本庁指導主事 栗村 道彦
川俣高校教頭 斎藤 重千代
磐城高校教諭 木内 佐門

理科

本庁指導主事 米沢 茂美
福島商業高校教頭 斎藤 正一
浪江高校教頭 田中 泰雄
磐城高校教諭 柳 沢 一郎

保体

本庁指導主事 鈴木 善兵衛

音楽

本庁指導主事 岡山 直勇
白河女子高校教諭 藤井 勇

美工

本庁指導主事 渡辺 良雄
安積高校教諭 水田 莊介

外国語

本庁指導主事 石川 衛三夫
白河二高副校長 橋本 秀夫
安積高校教諭 高橋 健郎

農業

会津農林高校長 佐藤 新九郎
岩瀬農業高校教諭 和田 三郎
福島農蚕高校教諭 塩田 諭

工業

本庁指導主事 佐久間 俊忍
郡山工業高校長 塩津 敏平
会津工業高校教頭 小森 五良

商業

郡山商業高校長 丹治 嘉市
平商業高校教諭 志賀 春野
福島二高教諭 芳賀 守